

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.90		富田地区	生物地理区分		アカマツ林	
			地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	岐阜県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	恵那市		4.低地	5.その他	
	集落名称等	富田	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林				
10.その他						

環境要素 (対象とする地域に含まれる環境要素)

: 面積割合が最大のもの : それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
	観光パンフレット等に写真が使用されている、風景探勝や撮影の来訪者が多い



写真の説明: 「農村景観日本一」展望所からの風景 (岩村町観光協会 HP より)



撮影時期: 2010年5月

写真の説明: 農業体験型研修 (恵那市 HP・最新情報紹介より)

NO.90		富田地区		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	岐阜県			2.団体・企業・学校等
	市町村	恵那市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	富田			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称	NPO法人農村景観日本一を守る会			
	その他の主体の名称	(株)ハラキン、恵那市			
目的 :主 :その他	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会				
	環境教育・学習活動				
	里地里山体験・環境保全				
	農林業体験活動	*	岩村町富田地区は、江戸時代に栄えた岩村城下に広がる有名な米どころであり、平成元年に『農村景観日本一』の称号を受けた。称号を受けてから地域全体で景観保全に対する意識は向上しているものの、具体的な施策や活動には至っていない現状である。 その中で、富田地区内に『富田をよくする会』や『農村景観日本一を守る会』が立ち上がり、この会を中心に景観保全に関する活動が行われるようになってきた。近年の少子高齢化や担い手不足または生産調整により営農活動が行われなくなった結果増加傾向にある耕作放棄地問題の解決に焦点を当て、企業との協働活動によって新しく農業体験等の活動の場にする事で耕作放棄地の問題解決を目指している。さらに現在ではその面積や活動内容を広げつつある。		
	エコツアー				
その他					
連携・協働による取組内容・役割分担等		富田地区にて景観保全活動を行う『NPO法人農村景観日本一を守る会』は、米卸業者である「(株)ハラキン」との協働事業により、耕作放棄地問題の解消を目指す活動を行っている。 (株)ハラキン(本社:岐阜県多治見市)は、一般企業に対して各種企業研修の一環として農業体験を取り入れる「実践型」研修を提供しており、通常の「机上型」研修よりチームワーク構築や社員育成・教育ができると参加企業からも好評を得ている。この「実践型」研修のフィールドとして富田地区にある耕作放棄地等が活用されており、NPO法人農村景観日本一を守る会、(株)ハラキン、恵那市間での協働事業を実施している。 協働内容の詳細は下記のとおり ・NPO法人農村景観日本一を守る会：地域の活性化、地元産米PR、農地保全など ・(株)ハラキン：地元産米ブランド化、米の集荷、企業間交流の促進など ・参加企業：社員育成・教育、チームワークの構築、福利厚生など ・恵那市：農業振興の発展、耕作放棄地防止、交流人口の増加など			
取組の特徴や強調したい点		NPO法人農村景観日本一を守る会は、耕作放棄地問題の解消だけでなく、全体の景観上重要な地点でシンボルとして認識されている『萱葺き屋根の家』の改修を手がけ、農家民宿(茅の宿とみだ)としている。現在残存している萱葺き屋根の中でもとりわけ大きく地域にも親しまれている施設であり、全体の中でも中心的存在となるため、会の活動拠点としている。			

取組の概要	農地と景観保全に向け、米卸事業者との協働により農業体験の場に	課題グループ 学習体験 仕組
事例の特性	農林業体験を活用した企業研修プログラム	
取組の中で他の地域の参考となる点	米どころで農村景観にも優れているものの耕作放棄地の目立ってきた地区が、地元の米卸業者と協働して一般企業向けに農業体験を組み込んだ研修の場を提供することにより、地元産米のブランド化や担い手育成などを進めている。	